

□ 要請番号 (JL60922A03)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|-----|-----------|------|------|----|------|---------------------------|
| ガボン | C103 野菜栽培 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・2022/4・2023/1・ 2023/2 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

社会福祉・女性支援省

2) 配属機関名 (日本語)

バドウゲゲ社会福祉センター

3) 任地 (エスチュエール州リーブルビル市) JICA事務所の所在地 (リーブルビル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩で約0.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

地域住民の生活環境改善を目的として社会的に支援をするセンターである。生活困窮者の家庭訪問を行い行政手続きの説明を行ったり、特に女性の自立した生活を目指すため野菜栽培、裁縫、料理、理髪などの職業的訓練も行っている。しかし、これらの職業訓練の提供は物的、財政的、人的資源の不足により中断することもある。センター内には保育所も設けられている。年間予算は1,080,000Fcfa(約22万円)。2021年度の日本国大使館の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」により施設の拡充と備品の提供が行われた。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

社会的弱者となる女性や子供たちを支援するため職業訓練部門を充実させたい。現在、訓練活動は人材不足から滞っている。そのためセンターの職員とともに活動できる協力隊員が要請された。また、日本国大使館からの支援で提供された機材(ミシン、調理器具など)を隊員とともに有効に活用できるようにしたい。裁縫や料理のコースでは高度な専門的知識は要求されていない。広大な敷地には畑も有しており、効率のいい野菜栽培や試験栽培ができることにも期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先関係者と協力して、以下の活動を行う。

- 野菜栽培担当者とともに野菜栽培コースの訓練内容や活動計画について準備を行う。
- 野菜栽培コース訓練開始にあたり地域住民への呼びかけなど広報活動を行う。
- 栽培する野菜の選定や試験栽培を行う。
- 収穫物の販売方法や料理方法のバリエーションを職員、訓練生とともに考える。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

一般的な農作業機具(耕運機などはない)

4) 配属先同僚及び活動対象者

センター長:1名(40歳代)

職員:22名(20~50歳代)

活動対象者:学校中退者、若い母親、家庭内暴力被害者の女性

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]： ()

[学歴]： (高卒) 農学系 備考：野菜栽培の知識が必要

[性別]： () 備考：

[経験]： () 備考：

[汎用経験]：

- 農作業経験3か月以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯雨林気候) 気温： (25~35°C位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水源]： (安定)

【特記事項】

同時にコミュニティ開発(料理、裁縫)の隊員も要請している。

【類似職種】

- 食用作物・稻作栽培
- ・コミュニティ開発

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。